

2025 年 4 月 27 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 2 号 (通算 3439 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

主任担任教師・牛田 匡 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替：00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝：毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝：毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

^{ちい}小さくされている人^{ひと}を
^{たいせつ}大切にする教会^{きょうかい}



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書 11:25)

^{ふっかつせつ}
復活節

^{だい しゅじつれいはい}
第2主日礼拝

^{ほんじつ れいはい}《本日の礼拝は、インターネットでの録画配信のみです。
^{じはん はいしん}10時半より配信いたしますので、ホームページにて
^{しちよう}どなたでもご視聴いただけます。》

^{せい い し ょ}聖書 ^{ふくいんしよ}マタイによる福音書

^{かみ}メッセージ「神はいつもあなた方と共にいる」

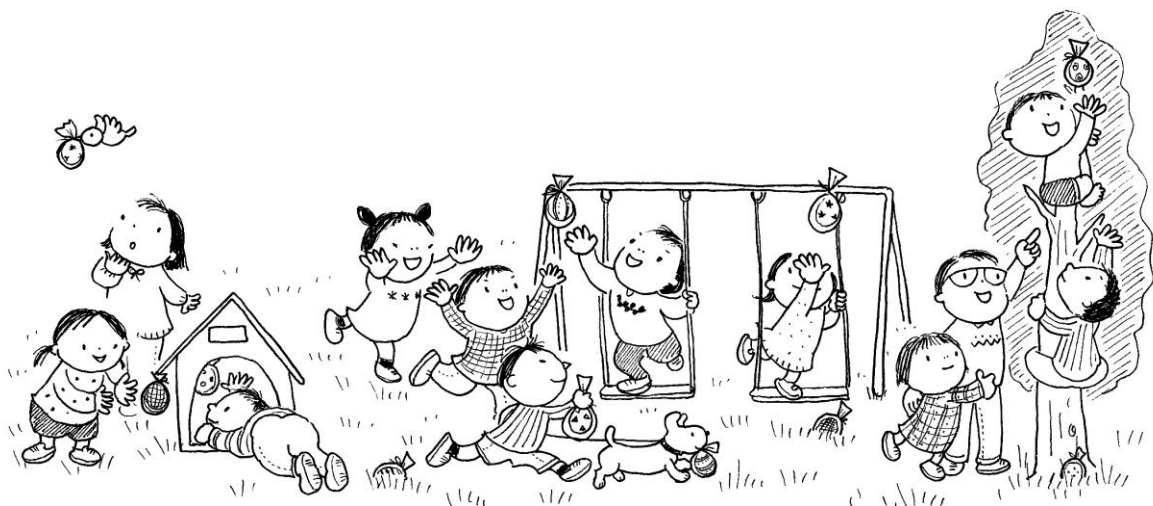
^{しょう}28章 ^{せつ}11-20節

^{うしだ ただし ぼくし}牛田 匡 牧師

^{しゅく ふく}祝福

^{こんしゅう}※今週は「^{ささげもの}献げ物(^{けんきん}献金)」は、集めません。

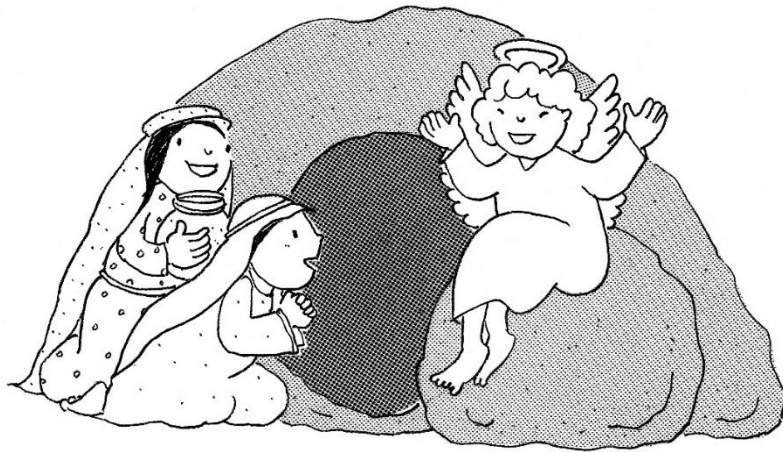
^{じしゅういこう}次週以降にお^{ささ}献げいただくか、^{ゆうびんふりかえ}郵便振替を^{りよう}ご利用ください。



聖書 マタイによる福音書 28 章 11－20 節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

¹¹ 女たちが弟子たちのところに向かっている間に、数人の番兵は都に帰り、この出来事をすべて祭司長たちに報告した。¹² そこで、祭司長たちは長老たちと集まって相談し、兵士たちに多額の金を与えて、¹³ 言った。『弟子たちが夜中にやって来て、我々の寝ている間に死体を盗んで行った』と言いなさい。¹⁴ もしこのことが総督の耳に入ったとしても、うまく総督を説得して、あなたがたには心配をかけないようにしよう。」¹⁵ 兵士たちは金を受け取って、教えられたとおりにした。この話は、今日に至るまでユダヤ人の間に広まっている。

¹⁶ さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスの指示された山に登った。¹⁷ そして、イエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた。¹⁸ イエスは、近寄って来て言われた。「私は天と地の一切の権能を授かっている。¹⁹ だから、あなたがたは行って、すべての民を弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼(バプテスマ)を授け、²⁰ あなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」



《先週のメッセージより》2025年4月20日 イースター（復活日）礼拝

「死を超える命」より

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 28章 1-10節

「イースター」は、イエス・キリストが十字架の上で殺された後に、死から引き起こされたことを記念する日です。しかし、「死からの引き起こし」や「復活」と聞いても、具体的にはどのようなことなのか、私たちにはよく分かりません。そもそも「命」というものの自体が、実はどこからどのようにしてやって来るのか、ということすらも、私たちは知り得ていないのではないのでしょうか。

イエス様が十字架上で処刑された後、三日目に「死から引き起こされた」というお話は4つの福音書全てに書かれています。時間帯が異なったり、お墓に行った人物や人数が異なっているなど、詳細は少しずつ異なっていますが、重要なのは、歴史的事実が正確に記述されているかどうかではなく、それぞれのお話が何を伝えようとしているか、ということでしょう。イエス様の遺体を安置したはずのお墓が空になっており、復活されたイエス様は再び故郷であり原点である辺境の地ガリラヤにおられるというこのお話から、私たちが受け取るメッセージは、「肉体の死が全ての終わりではない」ということであり、また「希望は絶望には終わらない」（ローマ5:5）ということではないのでしょうか。人間としてのイエス様の肉体は、確かに十字架の上で処刑されて、動かなくなり、息を引き取りました。けれども、その命や魂、思いや志は、決して消え去りはありませんでした。今も確かに、仲間たちの中に存在し、息づき、そしてまたその一人一人を支え、活かす動力源となっています。

肉体の死は、命の終わりではなく、死を超える命、「永遠の命」があります。もちろん、そのような「永遠の命」を頂いているからと言って、いわゆる「不老不死」になることも無ければ、病気も怪我も一切しなくなることもありません。この世界には今も戦争があり、貧困があり、病気も事故も、災害もあります。けれども、だからと言って、私たちに与えられた「この命には生きる意味がない、価値がない」ということにはなりません。母親の胎内に赤ん坊として形作られ、生まれる前から、神によって命が計画された一人一人です（詩編139）。この地上での歩みを終えた後についても、私たちには神様の計り知れない大いなる計画があるはずです。「死を超える命」があるということ。イエス・キリストがその身をもって示した愛の神は、十字架では決して滅ぼされず、終わることはありません。命の神が、今もこれからもずっと共におられることを胸に、私たちはこれからも生かされて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 4 月 20 日 イースター（復活日）礼拝

礼拝出席 大人 8 人 献金 大人 6,500 円 中継視聴者数 4 回 感謝

礼拝後に、愛餐会（昼食会）を持ちました。その後、2025 年度定期教会総会が開催され、全ての議案が可決・承認されました。

◎次週 2025 年 5 月 4 日（日）復活節第 3 主日礼拝

招きの詞 詩編 116 編 5-6 節

聖書 列王記 上 17 章 8-24 節

メッセージ「それでも生きる」牛田匡牧師

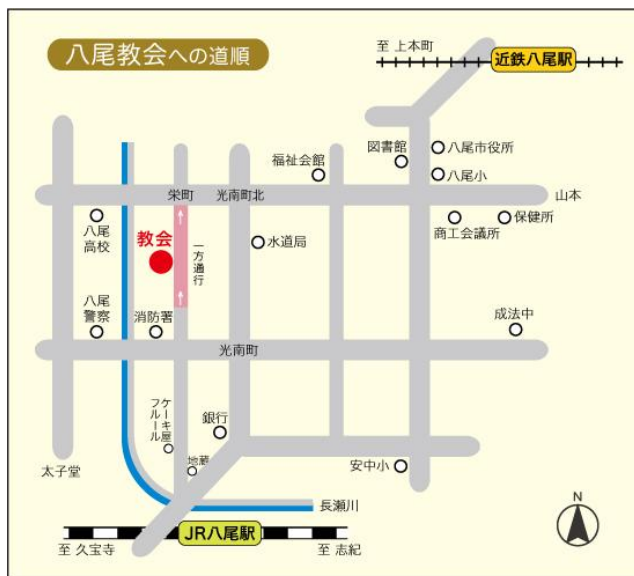
賛美歌 21-408 番(©JASRAC)、21-453 番(©JASRAC)、21-499 番(©JASRAC)

礼拝後に教会を考える会を開催する予定です。



◎お知らせ

- ・5月5日（月）～6日（火）にかけて、大阪教区総会が、大阪女学院ホールチャペルにて開催されます。久宝教会からは牛田匡牧師とさんが出席予定です。
- ・4月29日（火・休）12時～14時半に、八尾高校の隣にある八尾教会（栄町1-5-8）で八尾教会祭バザーが開催されます。手作り菓子、掘り出し市、軽食、音楽ステージ等があります。



- ・今月13日から開催されている「大阪関西万博」社会委員会主催）の第2回目が5月11日（日）15時～17時にかけて、東梅田教会にて開催されます。講師は、増田斎さんです。参加費無料、事前申込不要です。

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
5/4	牛田匡牧師	ユウカリスト・教会を考える会
5/11	牛田匡牧師	家族の日礼拝
5/18	牛田匡牧師	おにぎり支援
5/25	牛田匡牧師	誕生者祝福式

八尾教会祭バザー



2025年4月29日（休・火）
12:00～14:30
日本キリスト教団 八尾教会
八尾市栄町1-5-8
072-922-0653
<http://yaokyokai.com/>



大阪教区社会委員会 連続講演会

70年万博の全容

第1回 なぜキリスト教界は

万博に**参加**したのか

3/30(日)
15:00～17:00

5/11(日)
15:00～17:00

第2回 なぜキリスト教界は
万博に**反対**したのか

講師：増田 斎さん

国際日本文化研究センター博士研究員・明治学院大学キリスト教研究所協力研究員
主な著作「1970年キリスト教界における戦後主体性論争—大阪万博キリスト教館と万博反対運動」
（佐野真由子編著「万博—万博を巡る方法」思文閣出版、2020年）

会場：東梅田教会

間もなく大阪・関西万博2025が開かれようとしています。70年万博は、日本のキリスト教界に強烈な問いを投げかけました。キリスト者が社会と関わるとはどういうことなのか…。異なる立場が生じ、各々が信仰の問題として向き合いました。あの時代、キリスト教界ではどのような事が起こっていたのか。今回、キリスト教館を巡る議論について歴史的に研究されてこられた増田斎さんをお招きし連続講演会を行います。50年前の万博と重ねつつ、今、私たちの立ち位置を見つめ直す、学びの時にしていきましょう。

主催 大阪教区社会委員会

問い合わせ：uccj.osaka.shakai@gmail.com